

平成 18 年 3 月

試験研究業務月報



湛液水耕方式で栽培している様子



ボールタップで水位を維持し
ポンプで液を循環させる

養液栽培トマトの量的施肥管理技術

養液栽培では、低投入や廃液中の養分低減など、環境に配慮した技術が求められています。しかし、一般には濃度調節による培養液管理が行われ、養分の量的な制御は行われていません。そこで、トマトの施肥量低減と高品質化のための培養液管理技術として、窒素、リン酸、加里の量的制御を検討しています。

3月下旬に定植を行い、硝酸態窒素の施用量に着目した管理で、生育時期別の必要施肥量を明らかにします。また、培養液の濃度を高め、高糖度の果実を収穫する技術についても検討します。収穫は5月下旬からで、8月上旬まで栽培を続ける予定です。

農業総合研究所